

平成22年 1 ～ 3 月期平均の結果

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	249,934 円		
前年同期比	名目 0.2%の減少	実質 1.2%の増加	
二人以上の世帯は,	291,024 円		
前年同期比	名目 0.6%の増加	実質 2.0%の増加	
単身世帯は,	152,468 円		
前年同期比	名目 2.6%の減少	実質 1.2%の減少	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 0.5%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 1.3%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 2.0%の減少

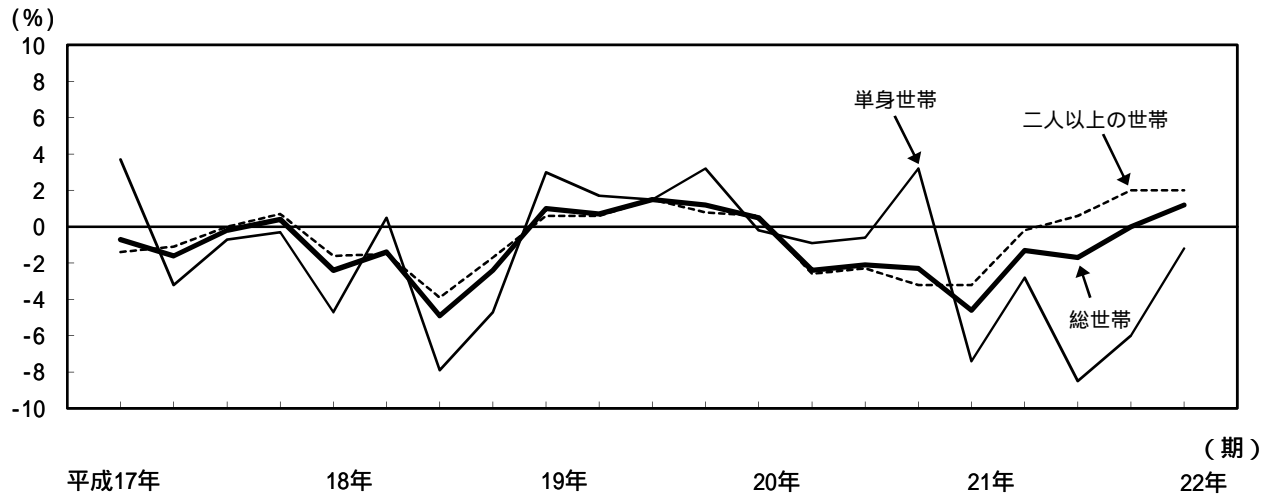
: 「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

< 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 1.5%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 1.5%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 0.2%の増加
	平均消費性向	83.0	%
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 0.5%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 0.5%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 1.1%の増加
	平均消費性向	86.0	%

消費支出の推移

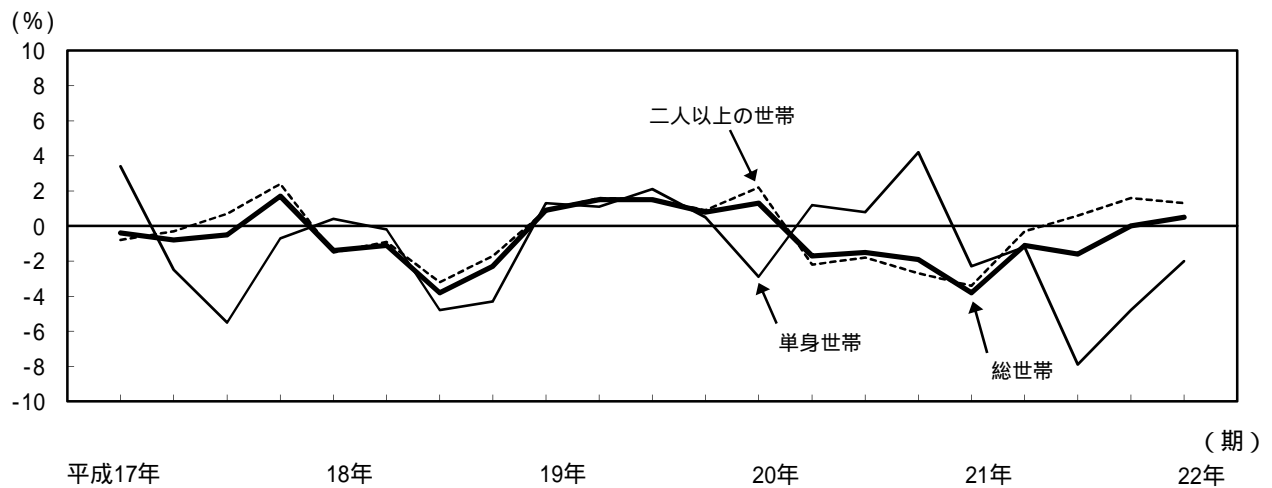
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	平成19年				20年				21年				22年
総世帯	1.0	0.7	1.5	1.2	0.5	-2.4	-2.1	-2.3	-4.6	-1.3	-1.7	0.0	1.2
二人以上の世帯	0.6	0.6	1.5	0.8	0.6	-2.6	-2.3	-3.2	-3.2	-0.2	0.6	2.0	2.0
単身世帯	3.0	1.7	1.5	3.2	-0.2	-0.9	-0.6	3.2	-7.4	-2.8	-8.5	-6.0	-1.2

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

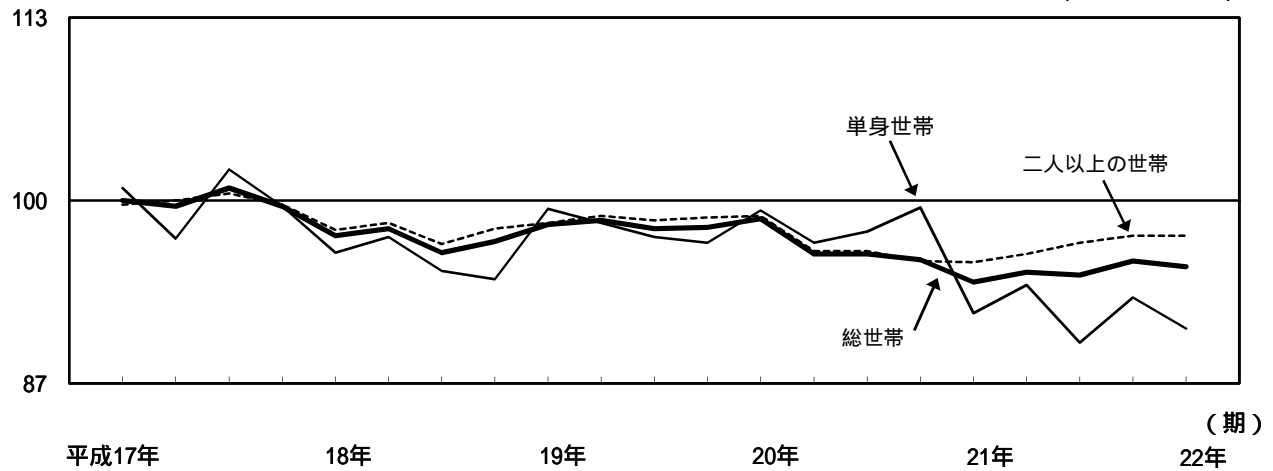


消費支出(除く住居等)	平成19年				20年				21年				22年
総世帯	0.9	1.5	1.5	0.8	1.3	-1.7	-1.5	-1.9	-3.8	-1.1	-1.6	0.0	0.5
二人以上の世帯	0.9	1.6	1.5	0.9	2.2	-2.2	-1.8	-2.7	-3.4	-0.3	0.6	1.6	1.3
単身世帯	1.3	1.1	2.1	0.5	-2.9	1.2	0.8	4.2	-2.3	-1.2	-7.9	-4.8	-2.0

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

（平成17年 = 100）



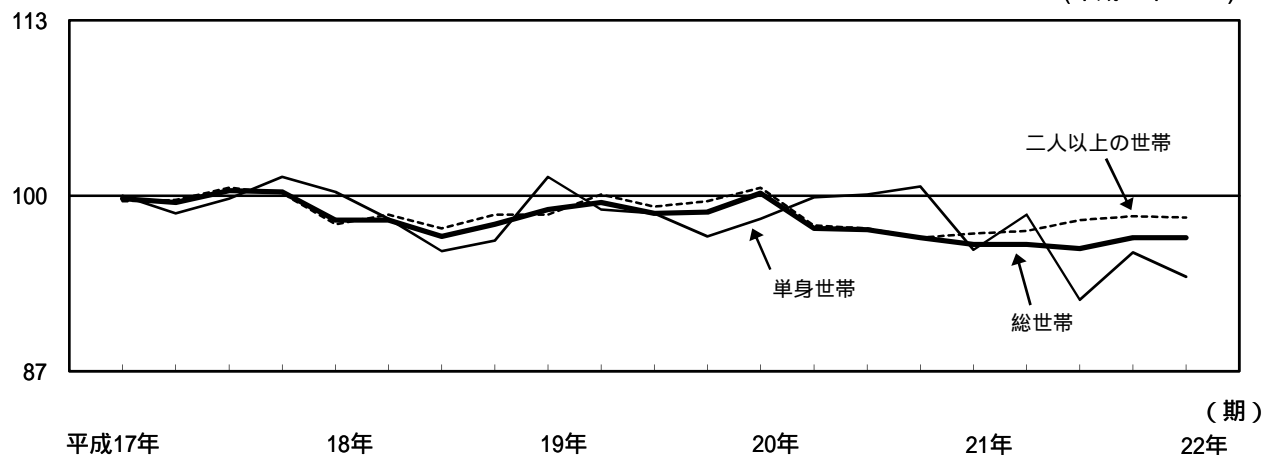
消費支出	平成19年				20年				21年				22年
総世帯	98.3	98.6	98.0	98.1	98.7	96.2	96.2	95.8	94.2	94.9	94.7	95.7	95.3
対前期変化率(%)	1.2	0.3	-0.6	0.1	0.6	-2.5	0.0	-0.4	-1.7	0.7	-0.2	1.1	-0.4
二人以上の世帯	98.4	98.9	98.6	98.8	98.9	96.4	96.4	95.7	95.6	96.2	97.0	97.5	97.5
対前期変化率(%)	0.4	0.5	-0.3	0.2	0.1	-2.5	0.0	-0.7	-0.1	0.6	0.8	0.5	0.0
単身世帯	99.4	98.4	97.4	97.0	99.3	97.0	97.8	99.5	92.0	94.0	89.9	93.1	90.9
対前期変化率(%)	5.3	-1.0	-1.0	-0.4	2.4	-2.3	0.8	1.7	-7.5	2.2	-4.4	3.6	-2.4

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整値は，過去にさかのぼって改定した。

図4 消費支出（除く住居等）（季節調整済実質指数）の推移

（平成17年 = 100）



消費支出(除く住居等)	平成19年				20年				21年				22年
総世帯	99.0	99.5	98.7	98.8	100.2	97.6	97.5	96.9	96.4	96.4	96.1	96.9	96.9
対前期変化率(%)	1.1	0.5	-0.8	0.1	1.4	-2.6	-0.1	-0.6	-0.5	0.0	-0.3	0.8	0.0
二人以上の世帯	98.6	100.1	99.2	99.6	100.6	97.8	97.6	96.9	97.2	97.4	98.2	98.5	98.4
対前期変化率(%)	0.0	1.5	-0.9	0.4	1.0	-2.8	-0.2	-0.7	0.3	0.2	0.8	0.3	-0.1
単身世帯	101.4	99.0	98.7	97.0	98.3	99.9	100.1	100.7	96.0	98.6	92.3	95.8	94.0
対前期変化率(%)	4.9	-2.4	-0.3	-1.7	1.3	1.6	0.2	0.6	-4.7	2.7	-6.4	3.8	-1.9

注1 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

2 季節調整値は，過去にさかのぼって改定した。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成22年1～3月期 - 総世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	249,934	-0.2	1.2	1.2		8期ぶりの実質増加
食 料	55,952	-0.3	1.3	0.30	<増 加> 外食,調理食品など	10期ぶりの実質増加
住 居	16,637	1.2	1.7	0.11	<増 加> 設備修繕・維持	3期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	22,232	-4.3	0.7	0.07	<増 加> 電気代,上下水道料	4期連続の実質増加
家具・家事用品	7,331	0.8	6.4	0.19	<増 加> 家庭用耐久財,家事サービスなど	5期連続の実質増加
被 服 及 び 履 物	9,893	-6.4	-5.3	-0.22	<減 少> 洋服,和服など	5期連続の実質減少
保 健 医 療	10,363	-3.1	-2.0	-0.09	<減 少> 保健医療サービス	4期ぶりの実質減少
交 通 ・ 通 信	33,988	7.7	5.8	0.73	<増 加> 自動車等関係費,通信	3期連続の実質増加
教 育	9,203	-0.6	-1.3	-0.05		
教 養 娛 楽	26,982	1.9	4.7	0.50	<増 加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービスなど	7期連続の実質増加
その他の消費支出	57,354	-2.7	(-1.3)	(-0.31)	<減 少> 交際費,こづかいなど	8期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

<増加項目>

実質寄与度

教養娯楽用耐久財	[0.74]	テレビ,パーソナルコンピュータ
自動車等関係費	[0.68]	自動車購入,自動車等関連用品
設備修繕・維持	[0.32]	設備器具,外壁・塀等工事費
外食	[0.17]	飲酒代
家庭用耐久財	[0.17]	エアコンディショナ,電気冷蔵庫
調理食品	[0.14]	弁当
教養娯楽サービス	[0.14]	国内パック旅行費,インターネット接続料
電気代	[0.10]		

<減少項目>

交際費	[-0.36]	贈与金
保健医療サービス	[-0.25]	医科診療代,歯科診療代
家賃地代	[-0.20]	民営家賃,給与住宅家賃
洋服	[-0.11]	婦人服

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

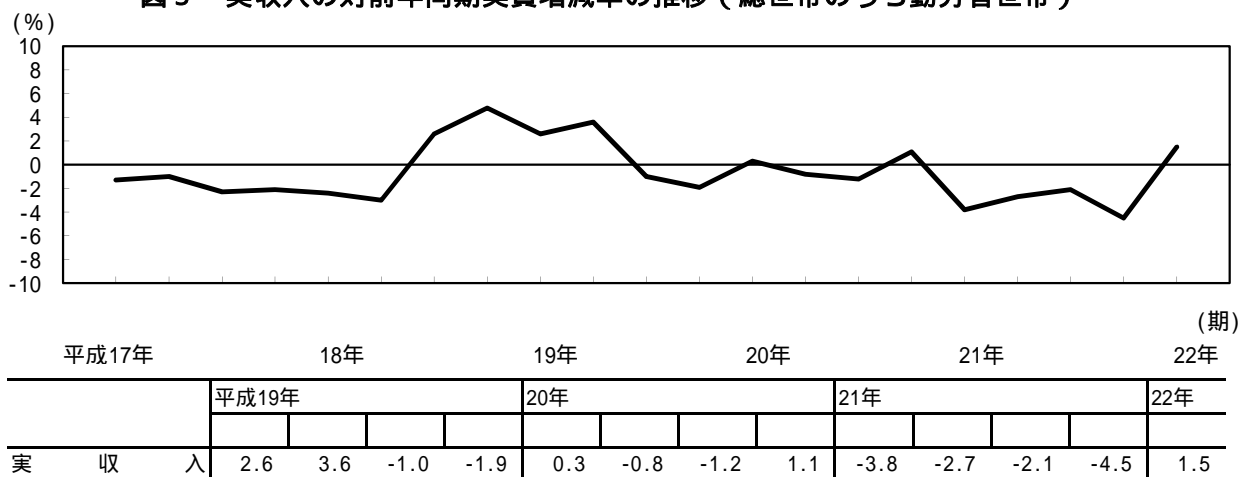
2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成22年1～3月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	404,162	0.1	1.5	1.5	5期ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	336,121	0.1	1.5	1.29	5期ぶりの実質増加
定 期 収 入	330,878	0.4	1.8	1.47	5期ぶりの実質増加
臨 時 収 入・賞 与	5,243	-13.1	-11.9	-0.18	5期連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	36,555	-0.5	0.9	0.08	3期ぶりの実質増加
う ち 女 性	36,261	-0.5	0.9	0.09	3期ぶりの実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	5,507	-16.5	-15.3	-0.25	5期連続の実質減少
非 消 費 支 出	67,544	0.2	-	-	5期ぶりの増加
可 処 分 所 得	336,618	0.1	1.5	-	5期ぶりの実質増加
消 費 支 出	279,278	-1.2	0.2	-	7期ぶりの実質増加
平 均 消 費 性 向(%)	83.0	(前年同期) 84.1	(ポイント差) -1.1		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

． 二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳（平成22年1～3月期 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	291,024	0.6	2.0	2.0		3期連続の実質増加
食 料	64,241	-0.5	1.1	0.25	<増 加> 外食,調理食品など	2期連続の実質増加
住 居	16,456	8.6	9.1	0.48	<増 加> 設備修繕・維持,家賃地代	3期ぶりの実質増加
光 熱 ・ 水 道	26,286	-4.0	1.1	0.10	<増 加> 電気代,上下水道料	4期連続の実質増加
家具・家事用品	9,025	8.4	14.5	0.42	<増 加> 家庭用耐久財,家事サービスなど	4期連続の実質増加
被服及び履物	11,823	-1.5	-0.3	-0.01	<減 少> 和服など	2期ぶりの実質減少
保健医療	12,274	-3.9	-2.8	-0.13	<減 少> 保健医療サービス	4期ぶりの実質減少
交通・通信	40,161	7.9	6.0	0.78	<増 加> 自動車等関係費,通信	3期連続の実質増加
教 育	13,069	0.0	-0.7	-0.03	<減 少> 授業料など	2期ぶりの実質減少
教 養 娯 楽	30,285	2.9	5.8	0.59	<増 加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービスなど	3期連続の実質増加
その他の消費支出	67,404	-3.0	(-1.6)	(-0.38)	<減 少> 交際費,こづかいなど	8期連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 増加項目 >

実質寄与度

教養娯楽用耐久財	[0.75]	テレビ,パーソナルコンピュータ
自動車等関係費	[0.74]	自動車購入,自動車等関連用品
設備修繕・維持	[0.39]	給排水関係工事費,外壁・塀等工事費
家庭用耐久財	[0.25]	エアコンディショナ,電気冷蔵庫
通信	[0.13]	移動電話通信料
教養娯楽サービス	[0.12]	国内パック旅行費,インターネット接続料
外食	[0.10]	和食,洋食

< 減少項目 >

交際費	[-0.31]	贈与金
保健医療サービス	[-0.26]	医科診療代,歯科診療代
諸雑費	[-0.12]	葬儀関係費,装身具
授業料等	[-0.10]	幼稚園,専修学校

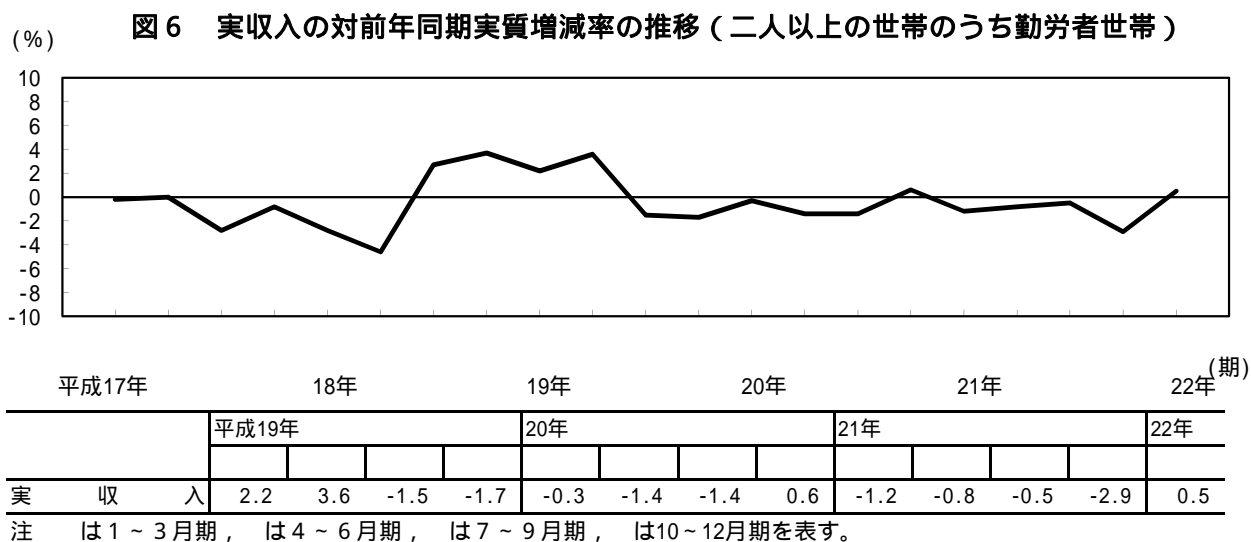
注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（平成22年1～3月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	446,207	-0.9	0.5	0.5	5期ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	357,555	-1.1	0.3	0.25	2期ぶりの実質増加
定 期 収 入	351,194	-0.8	0.6	0.44	2期ぶりの実質増加
臨 時 収 入・賞 与	6,361	-12.9	-11.7	-0.19	4期連続の実質減少
配 偶 者 の 収 入	49,891	0.1	1.5	0.17	3期ぶりの実質増加
う ち 女 性	49,490	0.2	1.6	0.17	2期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	7,515	-16.0	-14.8	-0.29	5期連続の実質減少
非 消 費 支 出	74,295	-1.3	-	-	2期連続の減少
可 処 分 所 得	371,912	-0.9	0.5	-	5期ぶりの実質増加
消 費 支 出	319,799	-0.3	1.1	-	4期連続の実質増加
平 均 消 費 性 向(%)	86.0	(前年同期)	(ポイント差)		
		85.4	0.6		



単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳（平成22年1～3月期 - 単身世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	152,468	-2.6	-1.2	-1.2		5期連続の実質減少
食 料	36,296	1.9	3.6	0.81	<増 加> 外食,調理食品など	5期ぶりの実質増加
住 居	17,063	-12.7	-12.3	-1.53	<減 少> 家賃地代	5期連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	12,620	-4.1	0.9	0.08	<増 加> 電気代,上下水道料	4期連続の実質増加
家具・家事用品	3,314	-29.8	-25.9	-0.78	<減 少> 室内装備・装飾品,家庭用耐久財など	2期ぶりの実質減少
被服及び履物	5,312	-24.9	-24.0	-1.09	<減 少> 洋服,和服など	3期連続の実質減少
保健医療	5,833	3.2	4.3	0.16	<増 加> 保健医療用品・器具,医薬品	3期ぶりの実質増加
交通・通信	19,333	7.8	5.9	0.68	<増 加> 自動車等関係費,交通	6期ぶりの実質増加
教 育	35	-	-	-		
教 養 娛 楽	19,145	-1.1	1.6	0.20	<増 加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽サービス	3期ぶりの実質増加
その他の消費支出	33,516	0.1	(1.5)	(0.33)	<増 加> 仕送り金,諸雑費など	5期ぶりの増加

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

家賃地代	[-1.53]	民営家賃,給与住宅家賃
洋服	[-0.58]	背広服,婦人服
交際費	[-0.49]		
室内装備・装飾品	[-0.36]	室内装飾品,カーテン

< 増加項目 >

教養娯楽用耐久財	[0.74]	テレビ,パーソナルコンピュータ
自動車等関係費	[0.53]	自動車購入,自動車等関連用品
外食	[0.49]	飲酒代,日本そば・うどん
調理食品	[0.37]	弁当,おにぎり・その他
交通	[0.33]	鉄道定期代,タクシー代
教養娯楽サービス	[0.27]	国内パック旅行費,インターネット接続料
電気代	[0.25]		

- 注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。
 2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成22年1～3月期 - 総世帯）

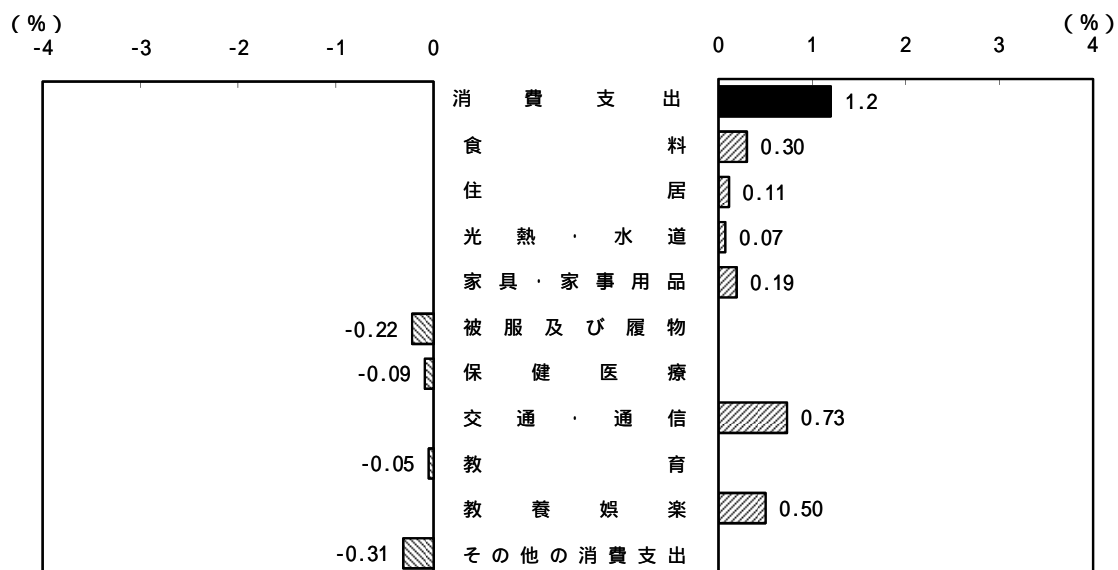


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成22年1～3月期 - 二人以上の世帯）

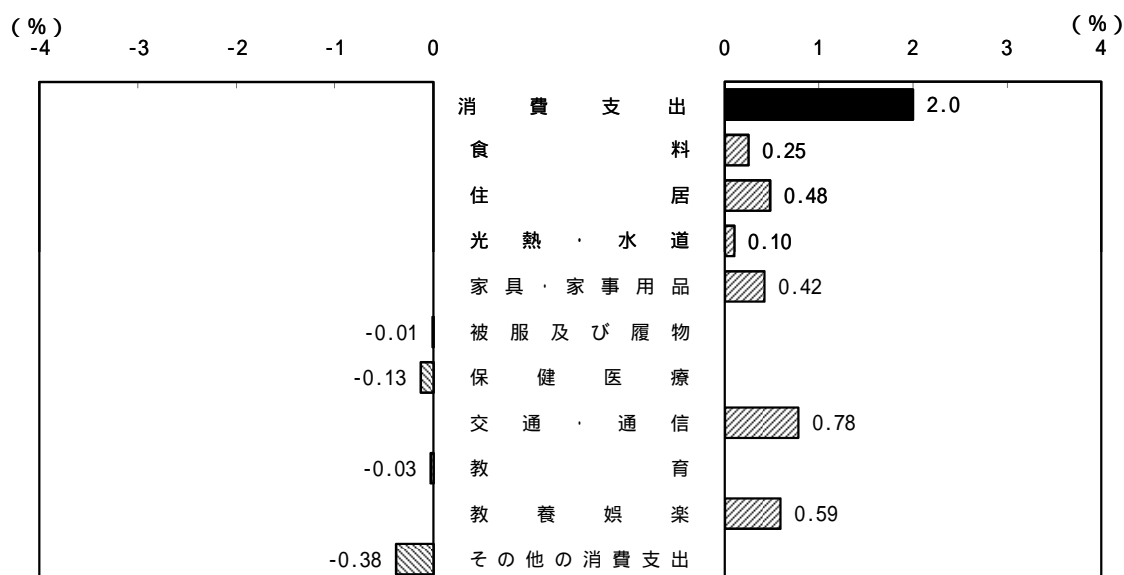
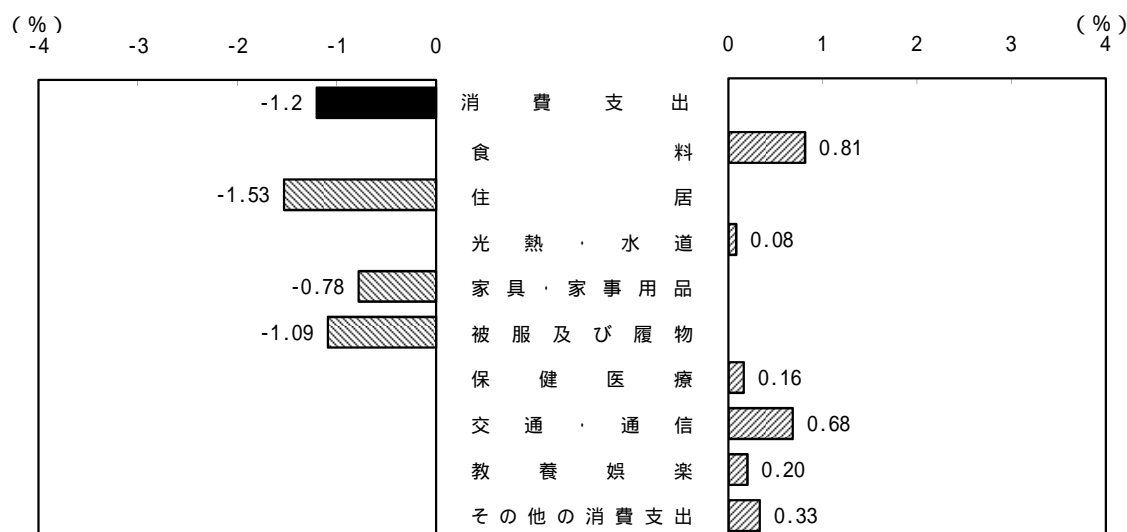


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度（平成22年1～3月期 - 単身世帯）



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。